

長野県社保協ニュース <19-3>

2014年7月29日(火) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

いのちにもっと、やさしい長野県へ



県知事選挙告示(7/24)

社保協の政策チラシ等で、網の目学習会を

7月24日長野県知事選挙が告示されました。自公民など「オール与党」が推す阿部県知事か県民が主人公の県政めざす「県民の会」の野口候補か。この間、我々が運動してきた子ども・障がい者の医療費窓口無料化問題が、今度の選挙戦の大きな争点として浮上してきました。安倍自公内閣が進める暴走政治、社会保障解体攻撃が強まっている

中だからこそ長野県が県民生活の「防波堤」としてその役割が発揮できるか否か、重要な政治戦です。二候補の政策・主張の対決軸も鮮明になりつつある中で、すべての団体では、先に社保協が発行した政策チラシ等も活用し、網の目学習会を開き、すべての構成員が有権者として自覚ある活動ができるよう援助を強めましょう。

県推協が実施した候補者アンケート結果

長野県障害者運動推進協議会は、県知事選挙の立候補者(11日立候補表明した人)に政策アンケートを送付し、その結果をまとめました。福祉医療給付制度部分は、以下の通りです。窓口無料化実施を表明したのは、野口氏のみで、阿部氏は、持論を述べ無料化実施の意思表示はありませんでした。

問1 <県の施策にかかわって>

子どもと障害者の医療費について、自動給付方式をやめ現物給付(窓口無料)にしてほしいと思いますが、貴方のお考えは? ア)賛同する イ)賛同できない

野口しゅんぼう 氏	阿部守一 氏
ア) 賛同する	どちらでもない
お財布の中身を心配せずに病院に行けることは、子育て中のみなさん、障害者のみなさんの強い要求です。それは早期治療にもつながり、しいては医療費の節約にもつながることです。子どもについては既に全国37都府県が実施しており、長野県は遅れています。浅川ダムなどの無駄な公共事業にお金を湯水のように注ぎ込むことはやめて、子育て支援・暮らし・福祉のために予算を使うべき。窓口無料は、既に地方自治体の枠を超えて、国の制度として実施すべきこと。県として即時実施するとともに、国に対して要求してゆきます。	福祉医療事業の主体は市町村にあります。県は市町村が行う乳幼児等、障がい者、母子家庭の母子等及び父子に対する医療費の自己負担分への助成のうち経費について、1/2を限度として市町村に補助金を交付しています。負担軽減のあり方については「現物給付」の一点のみを取り上げるのではなく、福祉医療全体で、何が必要かを、市町村としっかり話し合うことが重要であると考えております。